

# 令和6年度ホタテガイ採苗情報（第13報）

令和6年7月5日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター

関係漁業協同組合



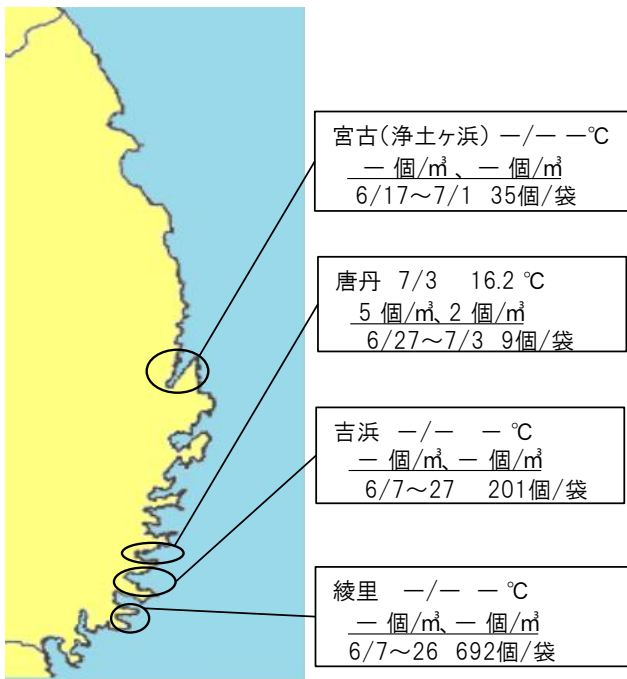
唐丹湾では、大型ラーバの出現数が低位で推移しており、稚貝の付着数が減少しました。

## < 調査結果の概要 >

- 7月3日の唐丹湾の10m深の水温は16.2℃、透明度は12mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが5個/m<sup>3</sup>（昨年同時期：163個/m<sup>3</sup>）、200μm以上の大型のラーバが2個/m<sup>3</sup>（同：35個/m<sup>3</sup>）出現しました。
- その他のラーバ出現数は、ムラサキガイが421個/m<sup>3</sup>、キヌマトイガイが108個/m<sup>3</sup>、エゾシカゲガイが127個/m<sup>3</sup>、その他が16個/m<sup>3</sup>でした。
- 唐丹湾では、付着稚貝の出現数が減少しました。

## < 陸奥湾の状況（ホタテガイ養殖管理情報第2号（7月2日発行）） >

- 中層（10～15m層）で20℃を超えるところが見られてきたので、新貝及び成貝の施設を水温の低い下層へ沈めるように注意喚起がなされています。



調査点 調査日 水深10m層水温  
 ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)  
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果  
 (国土地理院地図 国土地理院HPより)

今年のラーバ・付着稚貝調査は今回で終了します。

今後は、環境変化等に応じて臨時号や養殖管理情報を発信しますので、養殖管理の参考としてください。

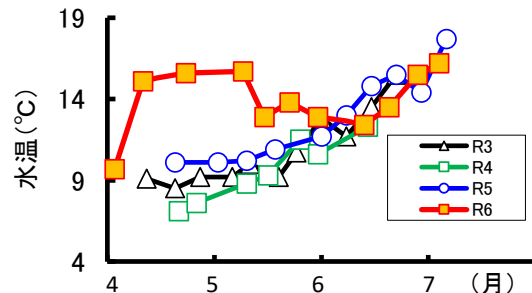


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

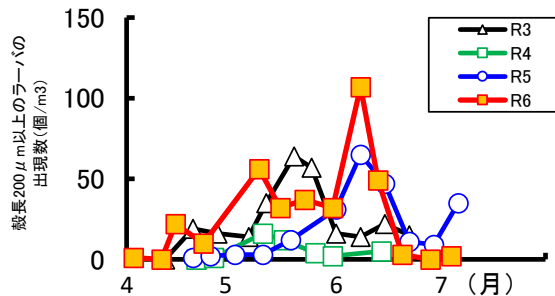


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

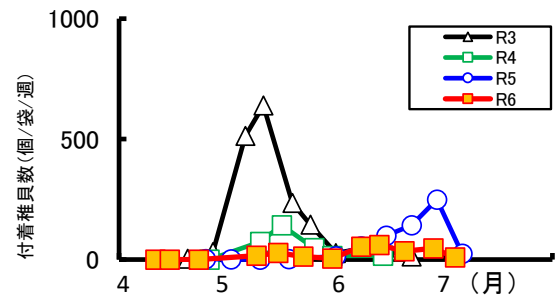


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数